

“支えあう 地域福祉活動” 社協会員にご加入下さい

市民の皆さんが地域福祉活動に参加する一つの方法として、会員制度を設けています。
随時受付けています。ぜひ、社協会員にご加入下さい。

会員区分	正会員	賛助会員	特別会員	組織構成会員
年会費	1,000円	3,000円	5,000円	5,000円

あなたの会費が地域福祉を支えています

次のような活動費として会費の約 **78.7%** は地域に還元されています。
それ以外に、地域活動の支援やはばたきフェスタ・会員を募集
するための経費として使われています。

地区福祉委員会活動



ふれあい広場や研修会の開催



地域清掃など

小地域ネットワーク活動



見守り訪問活動・配食サービス



サロン活動・会食サービス

救急医療情報キットの 情報が古くなっていませんか？

大阪狭山市社会福祉協議会では、高齢者や障がい者がいる家庭で、体調が悪くなり救急車を呼んだ場合に、素早く必要な医療情報等が確認できるよう「救急医療情報キット」を配布しています。

救急キットを活用されている皆さまで、服用されている薬の種類や、かかりつけ医が変わった場合など、保管している医療情報等に変更があれば、必ず救急安心カードの内容を書きかえてください。

いざという時に、皆さまの命を守る救急キットです。定期的に内容の確認をお願いします。

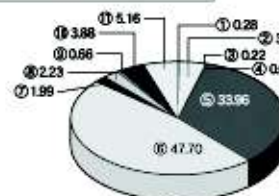
また、配布は引き続き行っています。対象者等の制限がありますので、詳しくは問い合わせてください。

☎ 367-1761



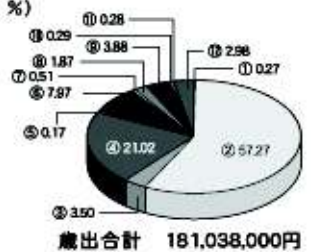
平成24年度 一般会計予算

(単位：%)



歳入合計 181,038,000円

- 歳入
- ① 授産事業収入
 - ② 会費収入
 - ③ 寄附金収入
 - ④ 助成金収入
 - ⑤ 経常経費補助金収入
 - ⑥ 受託金収入
 - ⑦ 事業収入
 - ⑧ 共同募金配分金収入
 - ⑨ その他収入
 - ⑩ 経理区分間繰入金収入
 - ⑪ 前期末支払資金残高



歳出合計 181,038,000円

- 歳出
- ① 授産事業支出
 - ② 人件費支出
 - ③ 事務費支出
 - ④ 事業費支出
 - ⑤ 分担金支出
 - ⑥ 助成金支出
 - ⑦ 負担金支出
 - ⑧ その他支出
 - ⑨ 経理区分間繰入金支出及び繰入支出
 - ⑩ 固定資産取得支出
 - ⑪ 予備費
 - ⑫ 当期末支払資金残高

平成24年度 公益事業特別会計予算

(単位：千円)

	歳入	歳出
地域包括支援センター	69,673	69,673
コミュニティソーシャルワーカー設置事業	7,117	7,117
心身障害者福祉センター及び母子福祉センター事業	3,171	3,171
ヒューマンケア事業	466	466

福祉センターだより

障害者地域活動 支援センターのご紹介

4月より知的障がい者の「さつき第二作業所」と身体障がい者の「地域活動支援センター」が合併した「障害者地域活動支援センター」の運営が始まり2ヶ月が経過しました。

障がい者の日中活動の場として、制作活動や創作活動、生産活動(プラスティック製品の袋詰め)の他、各種クラブ活動などを行っています。

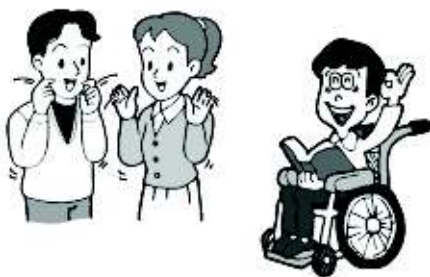
時間の過ごし方やプログラムの構成が変わった中で試行錯誤の運営ですが、利用者の皆さまをお迎えする朝をうれしく思います。

市内在住の身体障がい・知的障がいのある18歳以上で、意思疎通が図れ、身の回りのことが自分で出来る方が利用できるセンターとなります。

利用・見学をお待ちしています。

詳しくは、問い合わせください。

☎ 366-2022



地域ふれあい通信

西地区福祉委員会研修会

●日時 2月15日(水)
午前10時30分～
●場所 池之原会館

大阪狭山市危機管理グループから鳥山課長と畑辻主査を講師に招き、福祉委員研修会を実施しました。

昨年の東日本大震災をきっかけに強くなった防災意識を、今後も継続して活かせるように「大阪狭山市の地理、被害想定、自助・公助・共助」の取り組みについて学びました。

員体例では、自助として「安全安心スクール」の開校、公助として防災訓練や避難所への分散備蓄の実施などの説



明がありました。また、災害時要援護者への取り組みについて今までの経過と仕組み、日常生活では安全対策として家具の転倒防止についても学びました。

続いて、福祉委員の意見交換を行い、防災意識の重要性を共有し、実りのある一日となりました。

トピックス 「消費者被害」

地域包括支援センターでは、消費者被害の予防として地域の方に啓発活動を行っており、身近な事例を「寸劇」をまじえて紹介しています。

先日、行われた地区福祉委員会の事業では、2つの事例を紹介しました。

一つ目は、人気があるので買い取っても、直ぐに転売して儲かると勘違いさせて「温泉付き有料老人ホームの利用権」を買い取られた事例。

二つ目は、期間限定の健康食品の店に楽しく通いつめて、健康食品に2000万円を支払った事例。

当日、出席された民生委員さんをはじめ、参加者からは「以前に、そんな話を聞いたことがあったので、内容として現実味があつてわかり易かった」「気をつけたいといけないなと思った」「気づきの機会になった」といった意見がありました。



今後、そういった被害に遭わないように、これからも地域に向けて声を届けていきたいとスタッフ一同思っています。

広告を 掲載しませんか？

広告料: 1回1枠1万円(税込)
掲載枠: 1枠 62mm×62mm
発行部数: 25,600部/回
配布先: 市内全世帯・公共施設

問い合わせ

大阪狭山市社会福祉協議会
総務・地域 広報担当
☎ 367-1761

小地域ネットワーク活動事例集

市内で実施している36支部に協力をいただき「小地域ネットワーク活動事例集～各地区の取り組み状況～」を作成しました。各支部の「サロン活動・食事サービス・見守り活動」の実施状況を掲載し、幅広く紹介しています。



を配布しています。

…さつき荘相談室までどうぞ…

心配ごと相談 毎週月曜日 午後1時～4時
身体障がい者相談 第1・2・3・4金曜日 午後1時～4時
ひとり親家庭相談 第1・3土曜日 午前10時～正午
知的障がい者(児)相談 1・2・3・4水曜日 午後1時～4時
祝日などで相談日が変更になる場合があります。
電話での相談・問い合わせは ☎ 367-1761

子育ておしゃべりライン
☎ 367-6601 毎月第2・4木曜日 午前10時～午後4時

市民防災セミナーを開催

●日時 3月19日(月) 午後7時～

●場所 SAYAKAホール
コンベンションホール



●当日は、108名の参加者があり、東日本大震災の現地の声に耳を傾けました。

第1部の講演では、宮城県岩沼市社協の小菅氏を講師にお招きし、発災時の状況やその後の活動を、自分の抱えていた思いや葛藤などを交えてお話しいただきました。

講演の最後には、命を守る取り組みとして本場に大切なことは「防災訓練や災害時のマニュアル作成だけでなく、自分の隣の家には誰が住んでいるのかなど普段の生活で築かれていく地域のつながりである」と伝えられました。小菅氏の「もう誰も大切な人を失わないでください」

の一言には、強い思いと生き残った者の責任のようなものを強く感じました。

第2部では、2月20、21日に宮城県へ視察に行かれた市民4名によるリレートークが行われました。テレビの画面越しではなく自分の肌で感じてきたことを自分たちの言葉で話されました。リレートークを通して、宮城県視察で学んでこられたことも「大切なのは人と人とのつながりで難しいことではなく、普段の生活の中で築き上げていく地域の絆だったのだ」と感じました。

地域の絆を深めていくために、自治会や行政、関係機関を構成団体に、大阪狭山市として「何ができるのか・何が必要なのか」を考え、取り組んでいく「災害ボランティアネットワーク」を進めていきます。

本事業へのご理解ご協力をお願い致します。



♡あたたかい善意をありがとうございました♡

平成24年1月上旬から平成24年4月下旬までに預託をいただきました方のご芳名は左記のとおりです。(敬称略・預託順)

《個人名》 匿名(3名)

《団体名》 大阪狭山市産業まつり実行委員会 葛城キリスト教会

大阪狭山市立第七小学校6年生 日本基督教団金剛教会婦人会

ご寄付はぜひ社協へ

社協では、善意の寄付や香典返しの代わりに寄付、バザーやイベント等の収益の一部などを地域福祉向上のため、様々な形で地域に還元しております。

- 例えば
- 地域での行事でお使い頂ける、貸し出し用備品の購入(イカ焼き機・ポップコーン機・綿菓子機等保有)
 - 社協で行われる事業への助成
- ※なお寄付金は、税控除の対象となっています。お礼状につきましては、社会福祉協議会でご用意させていただきます。

☆お問い合わせ ☎ 367-1761☆

ヒューマン・ケア事業利用会員募集!!

高齢の方や、障がいのある方が、住み慣れた地域で生活を続けていくために…、子育て中の保護者が、安心して子育てできるように…
そのような思いを実現するためには、“ちょっとした手助け”が必要です。
ヒューマン・ケア事業では、協力会員(市民)と利用会員(市民)がお互い助け合い、支え合う地域づくりをめざしています。



- 空いた時間で何かしたい。
- 特技を活かしてボランティアしたい。
- あなたに合った活動をご紹介しますので、詳しくは、ご連絡ください。



社会福祉協議会

サービスの内容は、

- ・簡単な家事援助
- ・ゴミ出し
- ・病院の付き添い
- ・産前、産後のお世話(沐浴、家事援助など)
- ・犬の散歩
- ・見守り、話し相手など様々です。

お問い合わせ・登録 ☎ 367-1761 村田・阪本 まで

編集後記

いにしえ人を偲びながら熊野古道伊勢路を歩いた。新緑があざやかで美しいが、所どころで台風の爪痕に遭遇。自然の猛威に胸が痛む。

ふと災害から一年後の東北のげれきの山が目につく。復興に向けて国民一人ひとりが、がれきの処理の対応を真剣に考える時期だと思ふ。安全を確保しつつ…。(K記)